

令和2年度 第5回 見附市まちづくり総合審議会 議事概要

I. 開催日時 令和3年3月18日（木）午後2時00分～午後3時40分

II. 開催場所 見附市役所4階 大会議室

III. 出席委員 渡邊誠介会長、坂田政元副会長、三藤良行委員、山谷春喜委員、宇佐美保委員、八子円委員（ZOOM参加）、五井俊一委員、佐藤美千代委員、三本由美子委員、木原由美子委員、橋本卓憲委員、渡辺美絵委員（12名）

IV. 会議の概要

1. 開会

【金井副市長】

一言ご挨拶申し上げます。昨年7月17日に第1回の審議会を開催させていただき、本日で第5回の見附市まちづくり総合審議会となりました。今年度はコロナ禍における審議会開催となり、タイトなスケジュールの中ではありましたが、委員の皆様にご協力いただき、慎重審議の中で、見附市の明日を願って多くのご意見をいただきました。これまでに頂戴した16近くの意見を整理した形で、本日計画の最終案としてご提示させていただいております。また、市民の方々からも前向きなご意見をいただき、大変関心の高い事業であったと考えております。

計画について、この後の説明ののち、皆様のご承認をいただけましたら、最後市長への答申を予定しております。ここまで来れましたのも、皆様のお力添えあつてのことと思っております。

本日の審議も何卒よろしく願いいたします。

2. 会長挨拶

【渡邊会長】

総合計画は市政の骨格となる重要な計画であり、活発なご議論をお願いしたい。

【事務局】

委員の過半数が出席していることから、見附市総合計画審議会条例第6条第2項の規定により会議が成立していることを報告する。

3. 報告

（設置要綱第6条第1項に基づき、議事進行は渡邊会長へ）

（1）「SDGs未来都市計画」の進捗状況について

【事務局】

（資料1）にもとづき説明

【三藤委員】

4点質問したい。

- ①公共交通とはコミュニティバスとデマンド型乗合タクシーのことか。
- ②人口密度が低いところは車の運転ができない方の割合が多いと思う。そのような地域にコミュニティバスの運行エリアを広げる考えはあるか。
- ③レンタサイクル事業について、利用者数や課題は。
- ④SDGsに関して、SDGs学習を小学校だけではなく中学校でも実施する考えはあるか。

【事務局】

- ①に関しては委員ご指摘の通り。
- ②に関しては、コストや運行頻度などの利便性の維持を考えると難しい。そのような地域についてはデマンド型乗合タクシーにより公共交通の維持を図っている。現状では、逆に人口密度の高い葛巻地域や元町地域で交通空白地があり、その解消を図っていく必要があると考えている。
- ③に関しては、利用者数は年間1,500回程度。課題としては、現在は公共施設や民間施設の協力により、鍵の受け渡しなどの受付を行っているため、利用可能時間が短いことや人的な手間が多くかかることがある。スマホを活用した新しい仕組みでは、人的な受付が不要になることから、24時間利用が可能になり、簡便効率的な体制となる。
- ④に関しては、中学校でもSDGs学習が広がっているとも聞いており、より広めていきたい。

【坂田委員】

見附ニット工業協同組合はSDGsパートナーになっている。登録して終わりではなく、各パートナー企業の取り組みの紹介や、登録後にSDGsの取組を深めていくための方策を示したほうが良いのではないか。

【事務局】

SDGsパートナー制度については、市としても登録がゴールではなく、登録企業をひろげるなど推進していく必要があると考えており、ご意見は今後の参考としたい。

4. 議事

(1) 「第5次見附市総合計画後期基本計画」、「第2期見附市総合戦略」最終案について

【事務局】

(資料2)にもとづき、「第5次見附市総合計画後期基本計画（最終案）」の説明。

【三藤委員】

出生数について、これまでの未達成の大きな要因は20～39歳の若年女性人口の減少とこのことだが、それ以外で5年後の達成に向けた展望・対策は何か。

また、ごみの問題に関して見附市での汚泥の処理方法とコストは。

【事務局】

1点目の質問に関して、委員からはそれ以外のとのことだが、まずは20～39歳の若年人口の減少を以下に抑制していくかが重要だと考えている。その上で、これは見附市だけではなく、国全体も同じ状況だが、出生数の減少は晩婚化や仕事との両立という課題がある。それらの課題に対して、現在も行っている子育てに対する経済的な支援を継続していくとともに、行政だけではなく地域や企業等と連携して子育てしやすい環境を整備していく必要があると考えている。

2点目の質問に関して、現在市内には、葛巻と今町の下水処理場、農業集落排水の処理場として椿沢、上北谷の計4つの見附市の公共下水の処理場がある。市内の処理場で汚泥の水分含有数を落とした後、市外にて肥料や建築資材などへの再利用可能な処理を行っている。現在数千万の費用をかけこのような処理を行っている。見附市内で処理は完結できてはいない。

【三藤委員】

転入してきた方からは、周辺に比べて、見附市は子育て環境が充実しているとの話を聞く。

【渡邊会長】

出生数の目標達成に向けては、行政だけではなく、地域全員で子育てしやすい環境をつくっていくという共通認識が必要ではないか。

【木原委員】

P30のグラフについて、パブリックコメントの意見に基づき修正したP23のグラフと同じ表記方法に合わせたほうが良いのではないか。

また、P59の基本施策(3)の説明文について、本来基本施策は各分野の大きな方向性を示すものであるべきなのに、細かい事業内容まで記載しすぎている気がする。ここでの説明は大きな方向性を示すものと市、具体的な取り組みについては、主要施策で記載すべきではないか。

【事務局】

P30のグラフに関してはご意見のとおり修正したい。また、P59の説明文に関してもご指摘の通りなので、P60の主要施策の内容と含めて修正したい。ただ、修正内容については、ここですぐに内容を示すことが出来ないので、ご意見を踏まえて修正する方向で、事務局一任でお願いしたい。

【事務局】

(資料3, 4)に基づき、第2期総合戦略のKPIについて説明。

【三藤委員】

3点質問したい。

①診療所開業支援補助件数について、現在は診療所を開業する場合、初期投資資金を確保する観点からも、賃貸物件を活用した開業需要が高まっている。見附市の補助制度は、診療所を誘致する賃貸事業者に対する補助の拡大は今後可能なのか。

②健幸ポイントの参加者数に関して、民間の介護事業所などとの連携も必要ではないか。

③健幸ウォーキングロードに関して、産業団地からダンプ道路までの貝喰川沿いの遊歩道も含まれているのか。

【事務局】

①の診療所開業支援補助の補助対象については、開設に関する初期投資が対象になっており、賃貸であっても設備などの費用は補助対象になる。ただ、委員ご指摘の賃貸での開業が多いという状況については、担当課にも情報提供したい。

②に関しては、民間事業所との連携に関しては、今のところ介護事業所はポイントの対象になっていないが、カーブスとは連携している。

③に関しては、各地域コミュニティでウォーキングロードを設定しているが、ご指摘の箇所が含まれているかは今資料がないのでお答えできない。

【宇佐美委員】

関係人口について、基準値の見附さぼーたとふるさと納税の件数の内訳は。

【事務局】

資料がないのではっきりした数字はお答えできないが、見附さぼーたが約1,400、ふるさと納税は約1,000件だったと思う。

【渡邊会長】

一部意見を踏まえ今後事務局で修正する場所があるが、「第5次見附市総合計画後期基本計画」、「第2期見附市総合戦略」最終案について、基本的には事務局提案の内容で承認いただくことで良いか。

≪異議なし≫

(2) その他

【事務局】

来年度からは「見附市まちづくり総合会議」として、後期基本計画や第2期総合戦略の進捗管理をお願いすることになる。引き続きご協力をおねがいしたい。

5. 答申

渡邊会長から久住市長へ答申書を手交。

6. 市長挨拶

ただ今、渡邊会長から答申をいただきましたので、一言ごあいさつを申し上げます。皆様には、ご多忙の中、またコロナ禍の中にもかかわらず、まちづくり総合審議会委員として、第5次見附市総合計画後期基本計画について、精力的なご審議をいただき、誠にありがとうございました。

前期基本計画を策定した、平成27年度以降、社会経済状況は大きく変化しております。そのような変化を踏まえ、後期基本計画では、これまでの見附市のまちづくりで最も重視してきた、市民誰もが健やかで幸せに暮らせる「スマートウエルネスみつけの実現」に加えて、持続可能な地域づくりの視点としての「SDGs 未来都市の実現」、急速に進歩するデジタルテクノロジーを活用する視点としての「ソサエティ5.0の実現」という3つの大きな方向性を提案させていただきました。ワクチン接種や感染予防と社会経済活動の両立など、直面する新型コロナウイルス感染症への対応を最優先課題として取組んでいくとともに、後期基本計画に基づく、長期的な展望も踏まえ、具体的な取り組みを進めて行きたいと考えています。

明日の3月市議会の本会議で、令和3年度の予算が可決される予定です。この予算では、「新型コロナの克服とICTの推進」をテーマとし、皆様からご審議いただいた内容を具体的に進めていくための取組みも盛り込んでいます。

昨年9月に実施したまちづくり市民アンケートでは、「住み良い」、「どちらかと言えば住み良い」との回答が、平成5年の調査開始以降初めて90%を超え、特に20代、30代の方から高い評価を頂きました。また、令和2年度の人口移動調査では、社会動態の増加率が県内20市の中でトップ、人口減少率の低さでも2番目となるなど、見附市の「住み良さ」が評価されております。

私は、住んでいる人が、住んでいる地域を、住み良いと感じているかが、まちづくりで最も重要な要素だと考えております。

今後も、より一層、市民の皆様にとって「住みよいまち」となるよう、皆様からいただいた知恵を活かしながら、職員が一丸となって取組みを進めてまいりますので、引き続き、ご協力、ご尽力いただきますようお願いいたします。

最後になりますが、委員皆様のご健勝と、今後一層のご活躍を祈念いたしまして、簡単ではございますが、お礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。

7. 閉会

以上